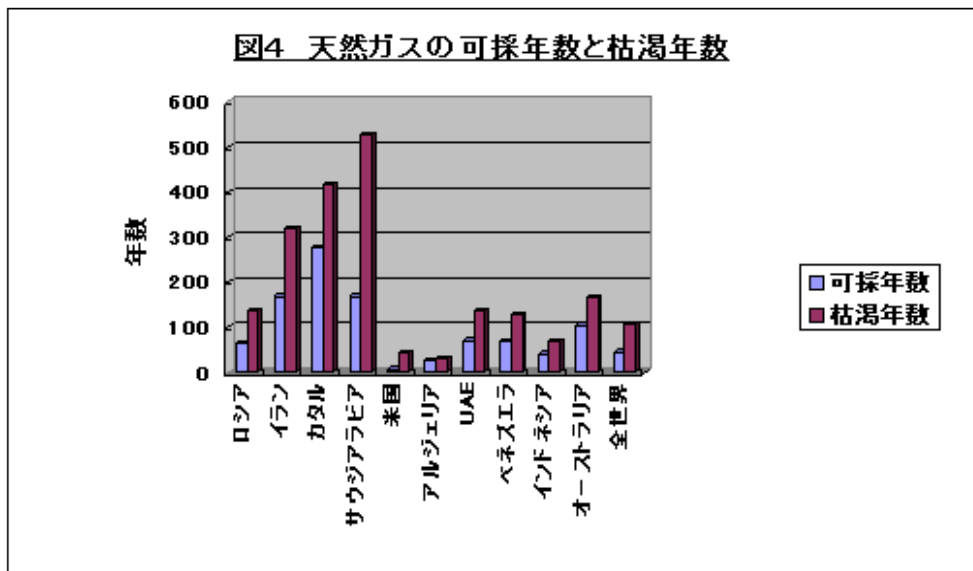
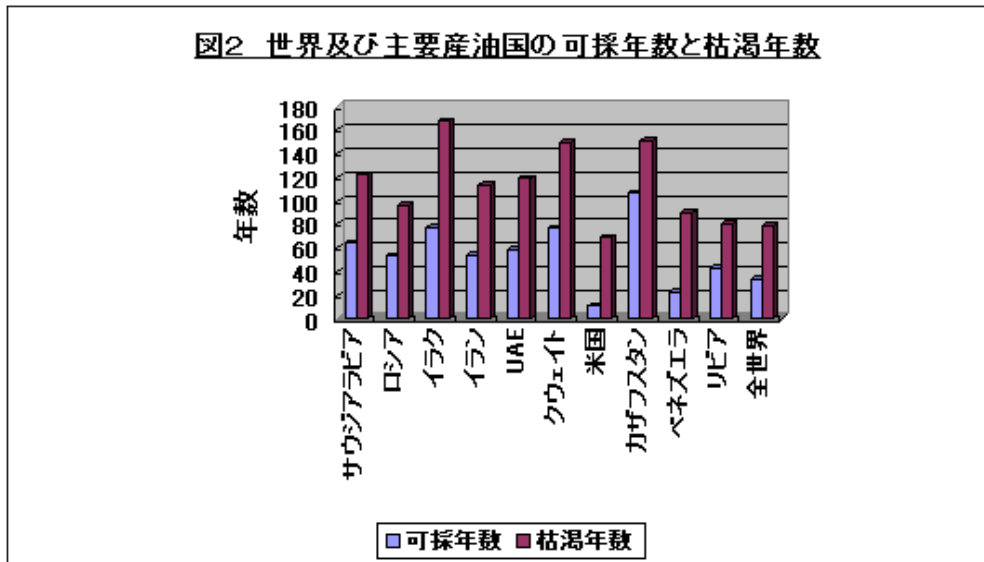


座長資料(環境保護派)

環境破壊による問題点

- ・資源の枯渇



全世界平均の石油の可採年数は33年、枯渇年数は79年

天然ガスの可採年数は45年、枯渇年数は102年

可採年数…現在の生産量を前提にして採掘し続けることができる年数。

枯渇年数…世界全体または或る国の石油資源が何年で枯渇するかという値。

このまま資源を使い続ければ、近い将来特に先進国は今の生活が出来なくなる！！

・砂漠化

現在砂漠になりそうな地域は地球上の約4分の1になる。もしこれらが全て砂漠化すると砂漠を占める割合が現在の約3倍になる。

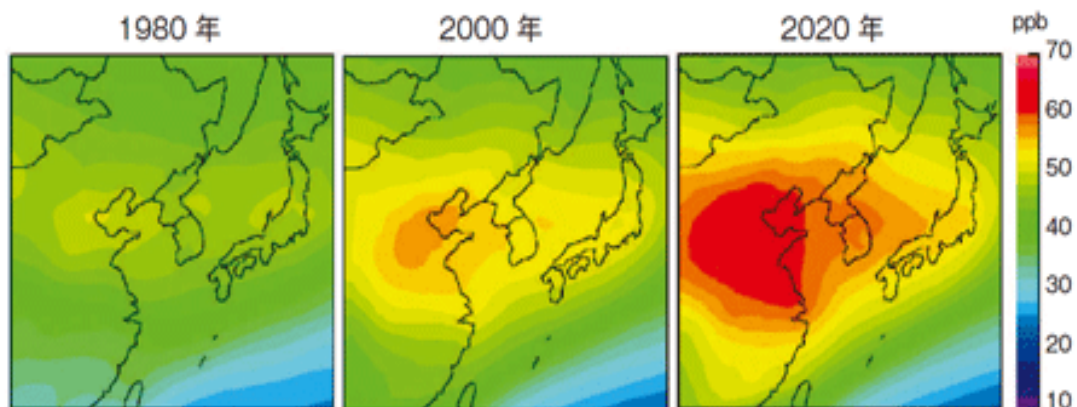
そして、砂漠化の原因は様々だが、森林伐採や人口増加にある。

・水質汚染

人口の増加や生活水準の向上により、私たちが炊事、洗濯など、毎日の生活の中で出す生活廃水が増加、この生活廃水が川や海を汚している大きな原因。

・酸性雨

中国では酸性雨の原因物質である窒素酸化物や硫黄酸化物などが風に流されて日本や朝鮮半島にも影響を与えている。



・大気汚染

大気汚染が第二次世界大戦後の経済成長に伴い深刻化したため、大気汚染防止法が昭和43年に制定された。その後、次々と大気汚染に関する規定や規則が作られたため、状況は改善したが、現在は車の移動が増えたことにより大気汚染が再び深刻化している。

・生態系への影響

夏の北極の面積は温暖化の影響により、年々減少していて1970年とくらべると4分の3まで減少している。このままいくと氷が減っていき、北極グマなどの生態系にも悪影響を及ぼす。